

令和7年度 東淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	194	48	39	10.3	16.7
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	447
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 東淀中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

令和7年度全国学力学習状況調査の結果

【成果と課題】

○国語

＜成果＞ 大阪市に対し、92.3%であり、全国比では88.4%となった。

全国と領域別に比較すると「話すこと・聞くこと」が5.6ポイント低く、「書くこと」が5.9ポイント、「読むこと」が6.1ポイント下回っている。また、平均無回答率も大阪市に対し、151.5%であり、全国比では153.7%となった。

＜課題＞大阪市や国を全体的に下回っている。得点の低い層が多いため、基礎と基本の学力定着が必要である。

○数学

＜成果＞ 大阪市に対し84.8%であり、全国比では80.7%となった。

全国と領域別に比較すると「数と式」が10.8ポイント低く、「図形」が7.0ポイント、「関数」が10.1ポイント、「データの活用」が10.4ポイント下回っている

そして、平均無回答率は数学では、大阪市に対し149.1%であり、全国比では157.5%となった。

＜課題＞大阪市や国を全体的に下回っている。得点の低い層が多いため、基礎と基本の学力定着が必要である。

○理科

＜成果＞IRTスコアで、大阪市に対し、91.4%であり、全国比では88.9%という結果になった。また、IRTバンドはバンド1が8.8、バンド2が43.5、バンド3が33.7、バンド4が13.0、バンド5が1.0となっている。

＜課題＞大阪市や国を全体的に下回っている。得点の低い層が多いため、基礎と基本の学力定着が必要である。

【今後に向けて】

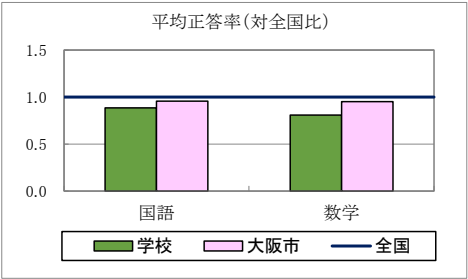
全国学力・学習状況調査の結果から受験した3教科(国語・数学・理科)全てにおいて、基礎基本の学力定着が必要である。個に応じた学習教材の活用をはじめ、家庭での自学自習の習慣化を目標にしていきたい。

令和7年度 東淀中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

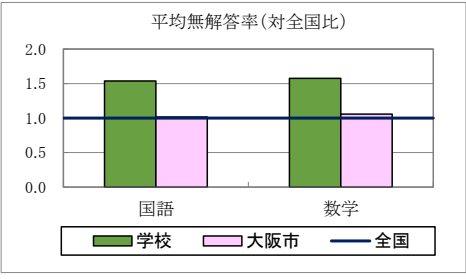
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	48	39
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

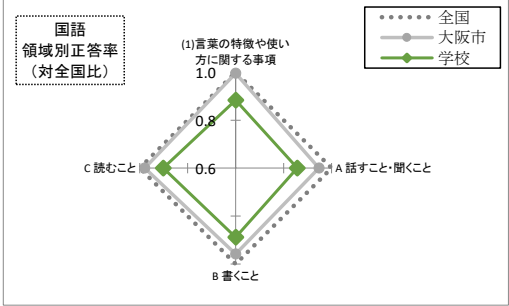
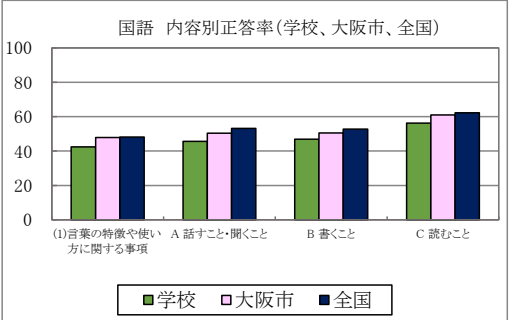


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	10.3	16.7
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



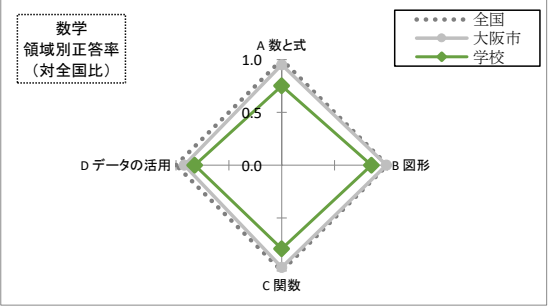
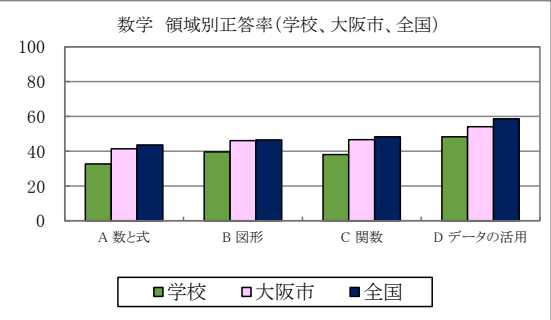
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	42.5	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	45.6	50.4	53.2
B 書くこと	5	46.9	50.6	52.8
C 読むこと	3	56.2	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	32.7	41.4	43.5
B 図形	4	39.5	46.1	46.5
C 関数	3	38.1	46.6	48.2
D データの活用	3	48.2	54.0	58.6

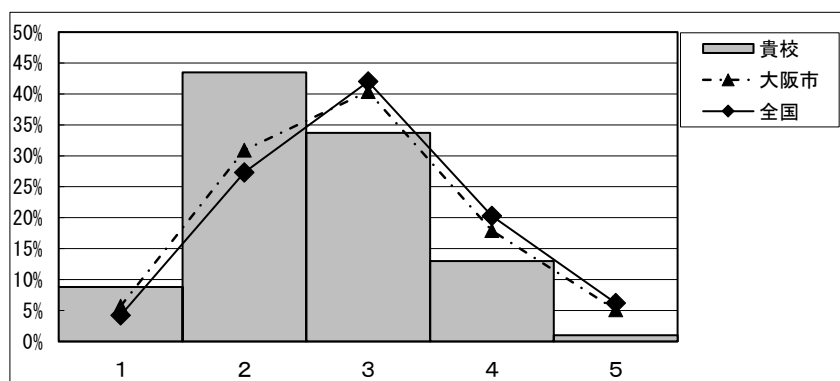
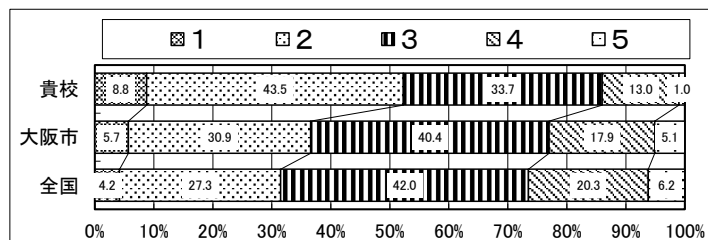


令和7年度 東淀中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	447
大阪市	489
全国	503



令和7年度 東淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

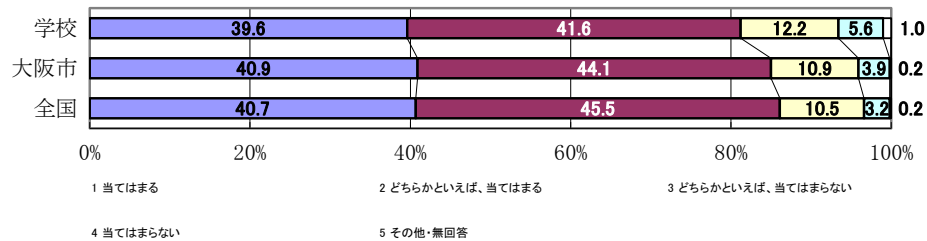
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

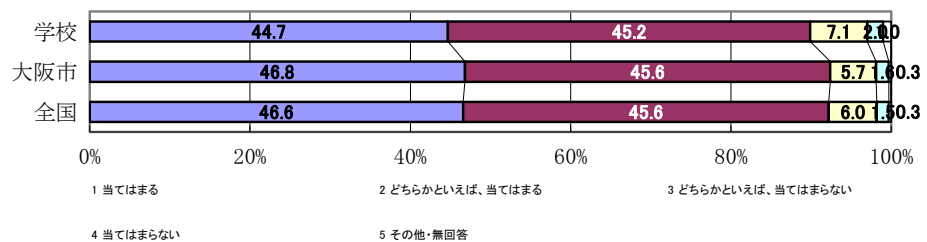
5

自分には、よいところがあると思いますか



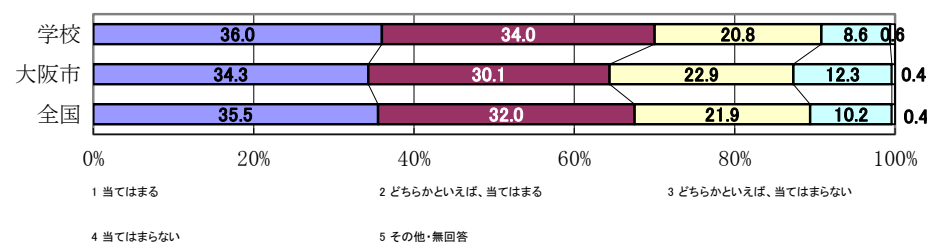
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



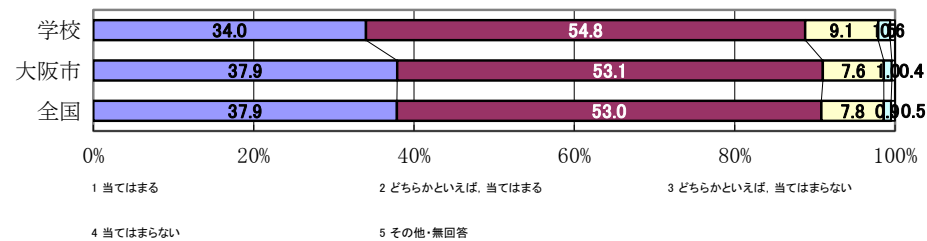
7

将来の夢や目標を持っていますか



8

人が困っているときは、進んで助けをしていますか



9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

